



申16号『電気部門の変革2022について』に関する交渉行っ！

【3月15日交渉内容】 ※議論内容は要旨

【電気部門の新たな新幹線体制の確立】

その③

1 1. 電力の財産・保守区分について、新幹線停車駅における配電所設備の区分は現行どおりとすること。なお、東京駅配電所・上野駅配電所については大宮支社の新幹線停車駅配電所の財産・保守区分を参考に区分すること。

組合：移行における現場負担を考え、配電所については現行通りの区分が望ましい。

会社：そのように考えている。東京支社の配電所も同じ考えで配電は在来。建物附帯設備における区分けで新幹線はラッチ内外で考えている。SCVも新幹線。在は柵内に入らないような管理にする。

1 2. 新幹線停車駅など在来線と新幹線が共用している通信機器室における財産・保全・障害対応の区分について、一目で分かるようにフローなどで明確化し、関係箇所への周知を徹底すること。

組合：明確に分けるための「表記」など考えているのか？関係箇所への周知もしっかりと。

会社：設備ごとに分けしていく。表示などは必要に応じてやっていきたい。関係箇所へはしっかり周知していく。

1 3. 施策実施後の御乗用列車やお召列車走行における警備体制について具体的な考えを示すこと。

組合：新幹線体制確立後の変更点はあるのか？

会社：今までどおりの体制でやっていく。各ポストへの配置体制も変わらない。

1 4. 首都圏新幹線電力技術センター（仮称）及び首都圏新幹線信号通信技術センター（仮称）の発足に伴う異動及び新幹線体制確立後の異動は、本人の希望及び状況を確実に把握し、納得感を得られるよう対応していくこと。

組合：解明交渉でも回答いただいた「いたずらに遠方へとは考えていない。本人・家族の状況も見ていく」というようにやっていただきたい。

会社：モチベーションを下げるのではなく、あげる思いで丁寧にやっていく。

組合：支社が丁寧にと言ってもらっていただいても現場ではそうならない事象もある。

会社：現場長会議など様々なチャンネルの場で伝えていく。

組合：私たちが持っているのは「技術センター管内」という意識であり、そのことは伝えておきたい。

【スマートメンテナンス導入等によるメンテナンス業務のスリム化】

1. 検測車への搭載スケジュールを示すこと。また、モニタリング装置を営業車に搭載する予定線区を改めて明確にすること。

会社：具体的な月日までは出ていない。検測車搭載での走行はおおよそ次年度末あたりから。

検測車搭載でのモニタリングは宇都宮以北となる考えだ。営業線への搭載は通過パン数10万パンを超える線区になる予定。宇都宮以南を営業車でと考えている。

組合：宇都宮以南でも大宮支線・西浦和支線、日光線や水戸線などは？

会社：分かり次第示していく。

2. 埼京線・川越線の検測車走行は昼間帯での走行とすること。

会社：E491の運用で東京・大宮・八王子とまたがる。昼間帯のスジが厳しいこともあり、現時点では夜間走行で考えている。

組合：E491のATACS対応工事も計画されているが？

会社：来年度末には改造していく計画だ。確かに夜間よりは昼間帯のほうが画像精度としては良い。昼間帯のスジが厳しい。

その④へ